

西北五支部 活動報告

皆さんこんにちは。西北五支部の中田です。9月から10月までの主な支部活動について報告します。

9月11日 中泊町地域ケア推進会議

中泊町湯らぱ一く大広間にて、「ACPについて考える」というテーマで青森市特別養護老人ホーム 三思園の代表者様に講演して頂き、「どせばいい？カード」で実際に遊びながら介護職員、看護師、ケアマネージャーなど多職種の方々とACP(人生会議)について学びました。

9月27日 認知症フォーラム

五所川原市のふるさと交流圏民センターオルテンシアにて、今年も認知症フォーラム「認知症と共に生きていく」が開催されました。薬剤師会でもブースを設けてお薬の相談に応じたり、MCI(軽度認知症)についても市民の皆さんに話をしました。

10月28日 働く人との対話集会

五所川原の金木中学校で行われた「働く人との対話集会」に調剤薬局として初めて参加しました。

職業人との対話の機会を設け、夢や志をもって働くことの意義、目的などを学ばせ、自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につけさせることで生徒のキャリア発達を促すことを目的にして毎年開催されているようです。

在校生全員が対象で講師の方々は約20名、市役所、保健師、看護師、自衛隊、金融業、農業、芸能、トリマー、飲食店など様々な分野から参加していました。

生徒3〜4名の2班が各教室をまわり、講師は自己紹介・働く人の説明・質疑応答・対話を計20分とする流れを3回繰り返す形式で行われたのですが、気がつけばあっという間に時間が過ぎていました。

薬剤師とはどんな仕事か、仕事のやりがいなどの説明を聞く生徒の皆さんはとても真剣で、質問もどんどん積極的にしてくれていました。いい機会なので錠剤、散剤、シップ薬等にも触ってもらい、これからインフルエンザの時期なのでイナビル吸入剤の使い方も見本を使って説明しました。

生徒達と対話することで改めて気づかされることもあり、とてもいい体験でした。今後の進路について、少しでも参考になればと思います。

以上になります。今後も西北五支部の活動を報告していくのでどうぞよろしくお願いします。